

2021年度(令和3年度) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年(令和4年)1月18日

配布数:33 回収数:22 回収率:66.7%

事業所名:しえあきつず

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・定員に対しては応じすぎ(そもそも指定基準2つ取れますの)でしょう。むしろ定員数よりもそれぞれのお子さんに合った(望む・望まれる)「スペース」=「空間」という意味(広さのみでなく居心地等の空気・雰囲気)で捉えている。 ・バギーに乗って活動出来ているので、十分なスペースがあると思う。	18	0	0	4	0	・中に入ったことがないので、わかりませんが、広くなったと聞いているので。 ・4名の方に対してはなんとかお越し頂ける(あるいはWeb等で見て頂ける)機会を作る。または、送迎付きで見学していただく。動画もしくは映像を見てもらえる機会を作りたい。 ・随時見学に来ていただけることをお伝えする。
	2 職員の適切な配置	・できている。 ・数は十二分。 ・基本的にマンツーマンで、余裕がある時は+1人スタッフもいるので良いと思う。	20	0	0	2	0	・「わからない」と答えられた方には、しえあきつずの体制や様子などをお伝えする。また、随時見学に来ていただけることもお伝えする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・それぞれのお子さんにとってどうなのかは日々試行錯誤している。 ・心掛けている。 ・どこからでも全体が見渡せるわけではないので、人が少なくなる時は注意が必要。	17	0	0	5	0	・情報伝達の仕組みはもっと考えるべき。介助・誘導・移動等が介助者主体のみとなっていないか等。 ・見学に来てもらったり、インスタを見てもらったり、送迎時に様子をお伝えする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃、消毒出来ている。	17	0	0	5	0	・現在の取り組みを継続する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・一つ一つの問題に適宜解決を検討していると感じるが、それが業務改善に直接つながっているものかは分からない。	/	/	/	/	/	・振り返りする機会を設け、業務がスムーズに動けるようにする。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者=保護者と考えるならできている。	/	/	/	/	/	・現状は未実施であるが、実施についての検討を行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・事業所内では行っている。 ・外部研修の案内もしてくれている。	/	/	/	/	/	・今後も希望を聞きながら研修を実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・真摯に熱心に取り組んでいると思われる。 ・具体的にでないこともあるように感じるが、それぞれが同じ目標に向いていると思う。	22	0	0	0	0	・当たり前に変わり続けるもの(子どもさん一人一人の)に対して限りなく大勢のスタッフで考え続けていく。 ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・できている。 ・特に放デでは時間に追われ、集団活動は難しい(長期休みは出来ている)。 ・具体的にでないこともあるように感じるが、それぞれが同じ目標に向いていると思う。	/	/	/	/	/	・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。 ・放デでは個別の活動に重点をおいていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・具体性に欠ける時もあるように感じる。 ・変更や追加があった際、共有しやすく計画も更新されているので分かりやすい。	22	0	0	0	0	・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・できている。 ・担当する全てのスタッフには周知できておらず、実施できていない部分もある。 ・支援に入る前に計画書を見ている。	22	0	0	0	0	・全会一致程怪しいものはないとの視点も必要で、第三者等からの指摘も受けられるように出来ればなお良いと思われる。 ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
適切な支援	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・できている。 ・保育士さんにお任せになっているのではないかと検討が必要。	/	/	/	/	/	・日々の活動(散歩やおでかけ等)や季節の行事等、多職種のスタッフが積極的に意見を出しながら、取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・できている。	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・できている。 ・季節ごとや年齢、発達段階に応じたプログラムを工夫している。 ・今後も継続的に多職種での検討が必要。	18	1	0	3	0	・プログラム内容の変化を、多くの関わる人が感じられるようになればいいかなど。 ・きつずだよりや送迎時に活動内容や様子をお伝えする。 ・日々の活動(散歩やおでかけ等)や季節の行事等、スタッフが積極的に意見を出していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・できている。 ・毎朝ミーティングで決めている。	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	
の提供	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	/	/	/	/	/	・振り返りの時間があれば、日々のケアに生かせるため、継続していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	/	/	/	/	/	・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	・しえあきつでもクリニックへ症状の報告ができるようになったので、必要時は利用していきたい。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	/	/	/	/	/	・小学校や支援学校入学時に支援会議に参加し、情報共有を行っている。引き続き行っていきたい。 ・保育所等訪問事業を行っているため、必要時は保護者と相談して支援に入る準備はしている。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	/	/	/	/	/	・今後、卒業する児もいるため、その時には情報提供する。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/	/	/	/	/	・研修などがあれば受講したい。 ・自ら研修を見つけて参加しようという意欲をスタッフにも持ってもらう。 ・現在の取り組みを継続する。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	2	3	2	15	0	・今はコロナ禍だから交流は控えた方がいいので、仕方ないと思う。 ・求められて行くものではなく、またこちらから出向くのみでなく、寄ってもらえるいは、設置点(羊畑やカフェ等)で落ち合うとかの手法があってもいいのではと思う。 ・コロナが落ち着けば出来るのではと思う。 ・今後カフェの活用も良いのでは？ ・就学すると必然的に交流が始まるので、無理にする必要はないと思う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/	/	/	/	/	・現在の取り組みを継続する。 ・カフェ利用での交流も検討する。
保護者への	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	21	1	0	0	0	・引き続き丁寧な説明を行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	22	0	0	0	0	・引き続き丁寧な説明を行う。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	12	1	4	5	0	・今はコロナ禍でイベント等開催するのは難しいと思う。 ・個別性もあるが、少なくとも定時の取り組みは行うべき。コロナ禍等の際だからこそ、と。 ・心配事や不安なことがないか、機会を見て尋ねてみるのも良いかも。 ・必要と考えられる利用者さんの送迎に取る時間を意図的に少し長くし、関わりを検討する。 ・保護者の方からご希望があれば可能な範囲で検討しても良いのではと思うが、支援内容があまり分かっていない。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	21	1	0	0	0	・現在の取り組みを継続する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	16	3	2	1	0	・相談を受けたら放置せず、自分で分からないことは必ず上司に聞くなどしてアドバイスできるようにする。 ・話しやすい、相談しやすい環境を作る(相談窓口など) ・ご両親に言われて気になったことは必ず上司に報告する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価(件数)					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
			はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答			
説明責・連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援						<ul style="list-style-type: none"> ・今は保護者が会うのも難しい状況。 ・コロナが落ち着いたら、このような機会を設けていただきたいです。 ・今の状況では仕方ないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍と言われる間を経て、今後も「禍」を理由に実施すべきことができないとならないように、議論を積み重ねたい。 ・希望者を募る、またはこちらが必要と思われる方々を対象に、少人数・短時間で実施しても良い。カフェスペースもあるので活用できる。 ・少人数の集まりだとスタッフの負担も少ないと思う。オープンスクールのような期間で、カフェでおしゃべりのような… ・コロナが落ち着いたら開催出来たら喜ばれる方が多いと思う。 ・スタッフや保護者の中から声が挙がれば、開催の検討、計画をしていく。 	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応						<ul style="list-style-type: none"> ・そのようなことになったことがないので分かりません 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や気になることを話してもらえ環境整備や、受けた時の対応をしっかりとっていく。 ・たわいない話でも、うん？と思ったら上司に報告してもら。困りごとを他スタッフは知っているが、上司が知らないこともあるので。 ・今後も迅速に真摯に対応したい。 	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮							<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもさんとの意思疎通がどれほど出来ているのかを個人的に詳しく知りたい。そんな機会を事業所内でも作りたい。 ・現在の取り組みを継続する。 	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信							<ul style="list-style-type: none"> ・情報や思いの共有には単なる「利用契約制度」まじってや「預かり」という内容から、それを深めていくのは非常に困難。その上でどうしていくかは常に考えたい。 ・現在の取り組みを継続する。 	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応							<ul style="list-style-type: none"> ・現状評価と同様で、新たなスタッフ等を含んだ意識のアップデートを繰り返し行う。 ・引き続き、契約時に個人情報の取扱いに関する書類を提出していただくことを継続する。 	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底							<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが中、それぞれのマニュアルのアップデートの繰り返しが必要と思われる。 ・既に発行しているが、定期的に防災だよりをお渡しする。 ・現在の取り組みを継続する。 	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施							<ul style="list-style-type: none"> ・放デイが主なので分からない。 ・また個人的にも練習したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族も含めたトレーニングの機会があってもよいかと。 ・図上訓練や研修などの内容は、しえあきつずのインスタやホームページ、しえあメール等で発信する。 ・しえあきつずに限らず、訪問へ行くスタッフにも訓練は必要だと思う。 ・今後計画的に実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応								<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続する。 ・会議内研修を行い、知識を深めていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載								<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をしなくて良いような代替案を継続的に検討・実施していく。 ・記録の必要な利用者さんがどれだけいらっしやるか再検討していく。 ・ホームページに情報が公開されていることを周知する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応								<ul style="list-style-type: none"> ・毎年個人票に記入して頂いているが、漏れないように確認していく。 ・クッキングやおやつ時に再度チェックしていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底								<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策委員会で検討を行い、事故に繋がらないように全体会議で周知する。 ・個人でも過去にあった事故・ヒヤリハットのファイルを見てもらい、同じことを繰り返さないように伝えていく。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか							<ul style="list-style-type: none"> ・分からないと回答された方にお話を聞きたい。 ・現在の取り組みを継続する。 	
	2	事業所の支援に満足しているか							<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもさんが、そのように満足しているのか等、どんどん進めていければと思う。 ・素晴らしい！！ ・引き続き保護者と連携を取り、保護者にも満足してもらえように頑張りたい。 	